



保育士の知恵袋



幼児教育は子ども理解から

島根県幼児教育センター 指導主事 竹岡 七重



4月から皆さんと一緒に幼児教育研修に取り組んでいます。今年度は、浜田市の全幼児教育施設へ訪問させていただくことになり嬉しく思っています。

幼児教育施設では、コロナ禍というこれまでに誰も経験したことのない環境を理解するところからスタートされたことと思います。様々な対応もこれで完全というものがなく、不安な日々を過ごされていることでしょう。しかし、これまでの保育を見直していこうという視点があり、チャンスに変えておられる園もあるかと思えます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密を避ける保育活動を行う必要がありますが、幼児期の子どもにとって自然、社会といった環境や友達との関わりを少なくすることは、発達を止めることに等しいとも言えます。幼児教育施設では、非常に頭を悩まされたことと思います。そこで、私がこれまで聞きました保育所等の「きらりとした取組」を紹介します。

① 何が子どもにとって大切かを見直す機会

コロナ禍ですので、保護者に保育をみていただくことができない状態です。そこで、子どもの姿を写真やビデオで紹介しようと考えます。紹介する中で、「〇〇して遊んでいます」といったことでは、保護者は喜んでもらえないことに気付いていき、「〇〇の遊びをしているこの子は、何度も繰り返しながら工夫をしてくっています。その中で、思考力の芽生えや自立心の形成が見られます。」といった、何が身に付いているか等（10の姿）に沿って紹介することがよいのではないかと先生方は気付いていきました。

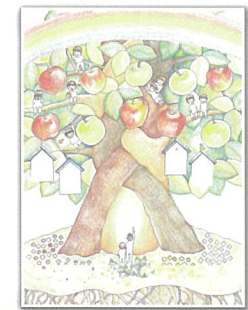
② 3密を防ぐための環境構成を工夫する必要がある

これまでは、一つの部屋で遊びを展開していましたが、狭い部屋だけではなく、遊戯室や園庭を使って、ダイナミックな遊びを展開しています。また、異年齢で取り組んでいますので、何人かの保育士で子ども達を見ることができ、保育の内容も相談しながら進めています。環境も色々な案が出て、子ども達が楽しそうに遊ぶ様子をたくさんみられるようになりました。チームで保育を進めていくことの大切さを実感しました。

2つの例はほんの一握りの気付きですが、2つの例で共通して言えることは、**子どもを見る一何育てるのか（育てたのか）を明確にする→現在の環境で何をどのようすると育つのかを考える→子どもを励ます、ほめる、（生活や遊びを）広げる→子どもを見る**といった循環が必要であるということです。

忙しさの中、子どもに向き合いながら日々取り組んでおられると思います。これからの園訪問も楽しみです。

今後ともよろしくをお願いします。



保冷剤は消臭剤として使える。

油性インクの汚れはみかんの皮（リモネンという天然油が含まれる）でこすると落ちる。

はさみがのりやテープで切りにくくなった時

- * マニキュアの除光液で拭く。
- * 消しゴムでこする。
- * ハンドクリームをつけて開閉した後拭き取る。
- * アルコール入りウェットティッシュで拭く。

ペットボトルのふたを計量スプーンとして使用。

（フタ1杯約7.5cc、大きじ1杯15cc）

お米のとぎ汁には米の栄養があり畑の作物にかけると肥料的役割になる。

つばめが低く飛ぶと雨が降る。

懐中電灯を立て、その上に水の入ったペットボトルを乗せると明るいランタン代わりになる。

花や七夕の笹を酢の入った容器に入れて立てておくと長持ちする。

朝顔の色水に石鹸水、重曹、お酢、レモン汁などを入れてみると色が変わる。

保管状態が悪くマスキングテープがべとべとになったら、冷蔵庫で冷やすと復活する。

家庭菜園で花や野菜の茎などについてアブラムシは牛乳を霧吹きでかけるとばたばた落ちて退治できる。

カメムシのにおいがとれるには、サラダ油やベビーオイルを塗ってから石鹸などで洗うとにおいなくなる。

秋から冬のおすすめ遊び

たかく！たかく！
みんなで積むたのしいな



大きな雪だるま
できるかな？

旬のさんまを炭で焼いて食べました。
五感で感じながら味わいました。



発表会でカラスのパン屋さんのお店で
たべもの屋さんをしました。
「いらっじゃ〜い」

まっぺました！
ゆきあそび！



いい音 み〜つけた♡



勝っても負けても「もう一回」
全身つかって遊ぶととっても気持ちがいいんだよ。



たこあげたのしいな〜



冬と言えば、
「雪」ですが、
室内では、「こままわし」も
この時期の定番です。
ひもごまを使って
犬の散歩や
打ち上げ花火などの
技にも挑戦しています。



実りの秋。山へ出かけ、たくさんみかん
を収穫して帰りました。おいしかったね。



竹ってたくといい音するんだね〜♪
ながい竹をみんなで
力をあわせて運んだよ。
“わっしょい！” “わっしょい！”
“よいしょ！” “よいしょ！”
かぐや姫はさすがにいなかったねえ〜



見て。こんなにたくさんとれたよ。